

一 岩手県立博物館テーマ展『比爪—もう一つの平泉—』パンフレット — 19頁

3 比爪—奥州藤原氏第二の拠点— ③ 外縁遺跡

◀ セツ盛 [紫波町佐比内字中屋敷] (2) ▶

現状を把握したいと考え、現地を探索してみました。地方の方に尋ね、「代官畑」と呼ばれている場所(佐比内字中屋敷地内)は確認できましたが、「セツ盛」を確認することはできませんでした。

また、地元の方も、「セツ盛」らしき塚の所在は心当たりがないとのこと。大正時代から、今日までの間に、「セツ盛」が破壊され、痕跡を留めていない可能性も考えられます。石塚の規模、連結形態は、やはり12世紀の経塚を連想させるもので、「セツ盛」は比爪関連の経塚であると想像されます。

◀◀◀ 12月～1月行事予定のお知らせ ▶▶▶

12月 1日 (日曜日)	設立10周年 記念特別講演会 記念事業反省会	会場：赤石公民館ホール 【講演会】 午後1時30分から(受付開始/午後1時) 講師：羽柴直人氏 紫波町文化財調査委員 演題：比爪研究の現状 参加料：500円(会員/200円) ※ 当日の参加申込みも受け付けますが、資料等をお渡しできない場合があります。 【反省会】 午後4時分から(講演会終了後、引き続き開催) 参加者：ひづめ館懇話会会員及び会員が同行する方 参加料：1,000円 ※ 反省会の申込み受け付けは終了しました。これから申込みたい方は、下記あて至急ご連絡ください。その時点で可能であれば追加受付します。 TEL 090-3125-3776 (高橋)
令和2年 1月15日 (水曜日)	第107回 月例発表会	午後7時から午後9時まで 発表者：金濱興一 テーマ：金鶏山 発表者：(未定) テーマ：(未定)

※1 10周年記念事業も、あと比爪館関係資料集第9号/記念事業特集号の発行を残すのみで、12月1日(日)の行事が最後となります。できるだけ多くの会員に参加いただき、有終の美を飾ることができるよう願っております。

※2 例年どおり、12月の月例発表会はありませので、ご注意ください。◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

【南日詰大銀Ⅱ遺跡—第1次～第3次発掘調査報告—】(4) <平成31年2月 紫波町教育委員会>

Ⅱ 南日詰大銀Ⅱ遺跡 第Ⅰ次調査

2 調査の成果 7頁

(2) 出土遺物 25頁

今回の調査で、かわらけ、国産陶器、中国産陶磁器、鉄製品、石製品、古銭、その他を中コンテナで30箱出土した。その内の実測可能な 133点を図化し掲載した。

1) かわらけ =一部省略=

SB-01掘立柱建物跡から14点。SB-02掘立柱建物跡から7点。SB-03掘立柱建物跡から4点。SB-06掘立柱建物跡から4点。SB-07掘立柱建物跡から4点。SB-08掘立柱建物跡から4点。Pitから12点。検出面から12点。Ⅱ層から51点。(ロクロ80点。てづくね32点)

2) 土師器 検出面から1点(坏)。

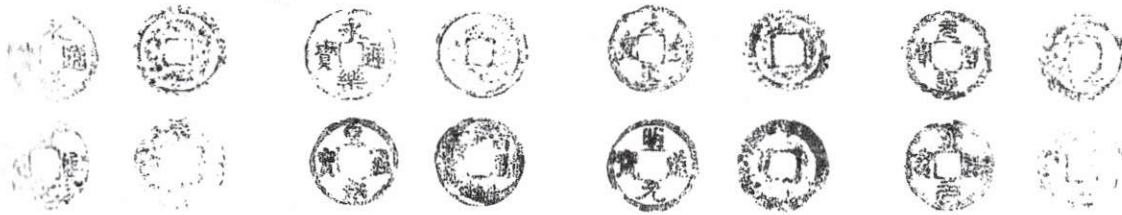
3) 国産陶器 P408から1点(壺)。検出面から3点(碗・皿)。Ⅱ層から2点(皿・広口瓶)。

4) 中国産磁器 P15から1点(白磁)。P387から1点(青磁)。Ⅱ層から2点(白磁・青磁)。

5) 鉄製品 検出面から1点(角釘)。

6) 石製品 Ⅱ層から1点(砥石)。

7) 古銭 Ⅱ層殻8点(永楽通寶・元豊通寶・皇宗通寶・明道元寶)。書体は真書体と篆書体。



いやあ～ やっぱり すげ～え

赤石公民館樋爪館入門講座Ⅱ 参加者25名

令和元年11月7日(木)午後1時30分から行われた第2回赤石公民館樋爪館入門講座《現地研修》<協力事業>は、25名(会員15、会員外10)が参加して行われました。

北条館遺跡の発掘調査現地では、県埋文の村田さんに、紫波町埋蔵文化財調査事務所では鈴木さんに解説をしていただきました。

参加者一同、凄い遺跡であることを再確認!町が保管している夥しい遺物にビックリ?でした。

